

清水海岸では、NPO や自治体による様々な活動が活発に行われています。富士を仰ぐ名勝として多くの人々に愛されてきた日本を代表する伝統的景観を未来に伝えていくため、地元住民が中心となって環境保全や文化継承活動を続けています。

## NPO法人 三保の松原・羽衣村

松枯れが顕著化した三保松原の整備活動を毎週水・土曜日に行っています。参加者は企業や親子連れ、学生など様々な人たちが集います。三保松原を中心に観光、環境、文化教育を三本の柱に、観光業者ではなく地域住民が主体となった観光地の構築をめざし、松原と人間が共生する循環型社会の実現を「羽衣ルネサンス構想」として提唱しています。

URL : <http://www.hagoromo-hotel.co.jp/hagoromomura/>



## NPO法人 海辺を考える しおさい 21

持続可能なより良い海辺環境を保全・再生することを目指し、「山・川・海の連環」をキーワードに、地球環境の保全に関連した新技術や資源の活用方法について研究・活動・実践しています。海岸についての指標の設定や、海岸の健全度の判定、海岸環境保全を目的とした新技術の開発研究、解析等研究を行っています。

URL : <http://www.shiosai21.jp>



## 🌀 保全状況報告書を提出

平成 28 年 1 月 28 日、日本政府は、世界遺産富士山の保全状況報告書をユネスコ世界遺産センターに提出しました。三保松原については、モニタリングを適切に行い、海岸の防護と景観保全を両立する対応策を報告書にまとめました。7月にイスタンブールで開かれる第40回世界遺産委員会で保全状況の審査が行われる予定です。

## 🌀 景観への配慮

清水海岸三保松原付近の海岸の防護と景観保全の両立のために必要となる技術的な検討を行い、世界文化遺産の構成資産にふさわしい海岸づくりに資することを目的に、平成 25 年度から三保松原白砂青松保全技術会議、平成 27 年度から三保松原景観改善技術フォローアップ会議を開催し、有識者の意見を聞きながら景観対策の計画を検討してきました。

平成 28 年度からは、短期対策の一環としてL型突堤の整備を進めていく予定ですが、海岸の変化をモニタリングしながら、養浜と併せて順応的な対応をしていきます。

会議の詳細は清水海岸ポータルサイトをご覧ください。

<http://shimizu-kaigan.net>



Shimizu Kaigan Dayori NAMIOTO お問い合わせ、ご意見はこちらまで

静岡県静岡土木事務所

〒422-8031 静岡市駿河区有明町 2-20  
TEL 054-286-9157 FAX 054-286-9100  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-850/>  
E-mail [shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp)



●静岡土木事務所工事第2課 平成28年3月発行



# 波音

NAMIOTO VOL. 19  
清水海岸だより

### 特集

- ・侵食対策から海岸を守る取り組み
- ・NPOの活動紹介
- ・保全状況報告書を提出
- ・景観への配慮



## 侵食対策から海岸を守る取り組み

清水海岸では、海岸の侵食による砂浜の減少や海岸背後の越波被害を防ぐために、海岸保全対策を行っています。L型突堤・消波堤・離岸堤型ヘッドランド・離岸堤・根固工などの海岸保全施設の整備が完了し、現在では海岸線に砂を補給して砂浜の維持・回復を図る養浜工を継続的に実施しています。

### L型突堤

羽衣の松東側の海岸線から沖合いに突き出したL字型の突堤は、汀線に沿って漂う砂（漂砂）の移動を制御・捕捉し、砂浜の安定化を図ります。三保半島先端（下手）の海底谷に落ち込む土砂を事前に捕捉し、堆砂させる効果を発揮しています。



### L型突堤に気をつけましょう

海岸の侵食を防ぐため、L型突堤が設置されています。突堤付近は波が打ち寄せられ、とても滑りやすくなっています。また、ブロックの凹凸や隙間につまづいたり、足を挟んでしまう危険性もあります。近づく際には気をつけましょう。



### 消波堤に気をつけましょう

海岸に設置されているブロックに、登らないようにしましょう。近づいたり、付近を泳いだりしないようにお願いします。ブロックは滑りやすく、また付近の海流が複雑で、ブロックに体を打ちつけられたり、ブロックの間に挟まる等、命の危険があります。また、海が荒れた時には、写真の様に波をかぶることがあります。釣り等で登るのも大変危険です。



### 消波堤

消波ブロックを海岸線に平行に設置し、押し寄せる波の力を弱めて砂の流出を食い止め、海岸線の後退を防ぎます。三保松原前面では、海岸線に設置した消波堤と継続的な養浜の実施により、現況の海岸線を維持しています。

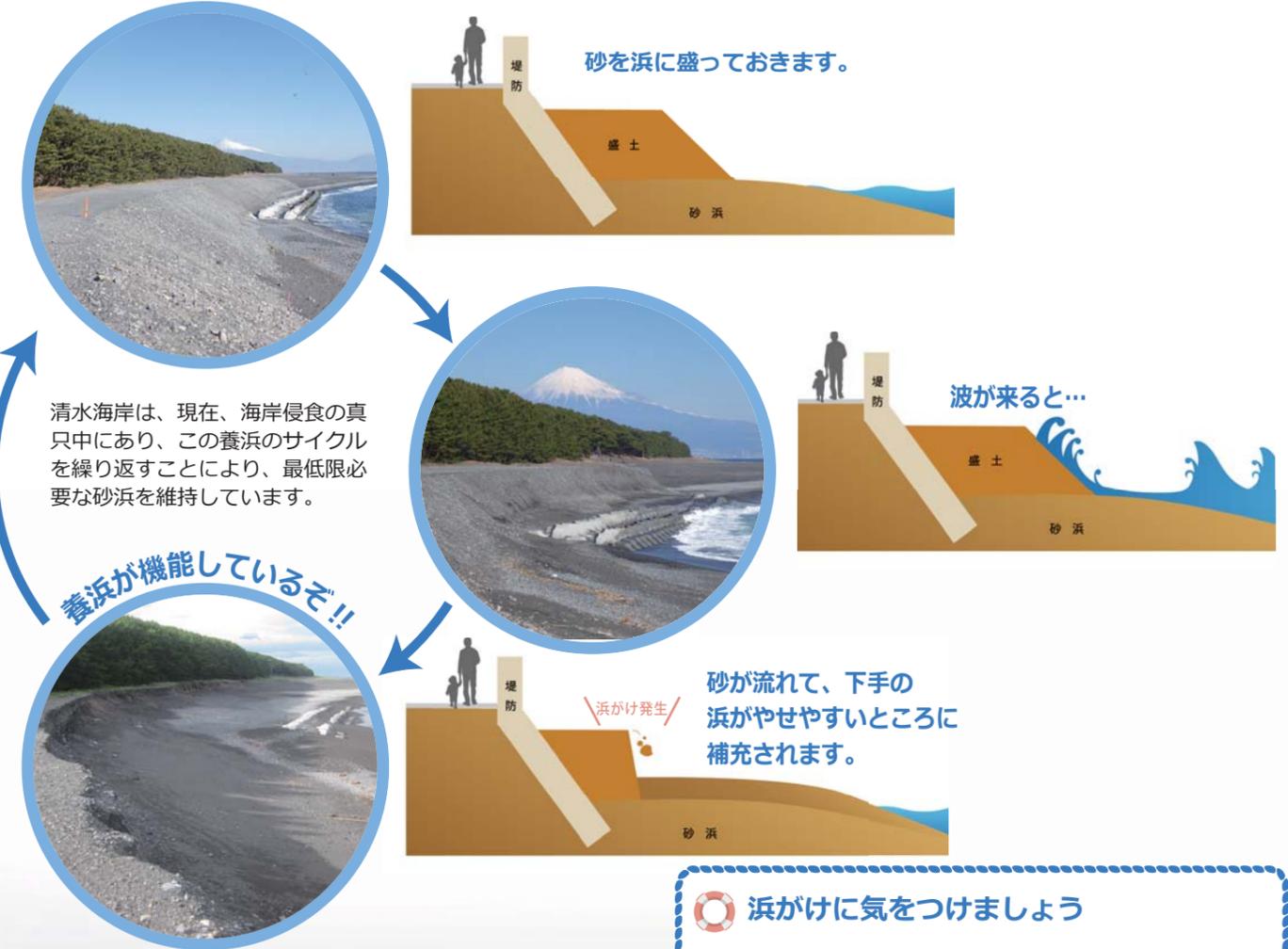
## 養浜

清水海岸の砂浜は安倍川から供給される土砂（漂砂）により形成されており、この一連の土砂の流れを勘案しながら対策を行っていくことを基本としています。侵食を受けている海岸が自然の力で回復するまでの間、不足する砂の流れを人為的に補う「養浜」により砂浜の維持・回復を図っています。



### 養浜のサイクル

養浜を行い浜に砂を盛っておくことで、波から人家を守るとともに、波の力を利用して下手側の砂浜がやせやすい場所に砂を流して補充しています。このとき、下図のようなサイクルで、**浜がけ**と呼ばれる崖のような地形が出来ますが、これは、養浜が機能している証拠です。



### 浜がけに気をつけましょう

砂浜を保全するために養浜を行っていますが、波の作用による海浜形状のサイクルの1つとして、「浜がけ」と呼ばれる地形がどうしても発生してしまいます。浜がけは、斜面が不安定な状態にあり、崩れ落ちる恐れがあります。落差が大きいところもあり、転落の危険もありますので近づかないようにしてください。

